

テクノゾーンレター

1.事務局からお便り

新横浜テクノゾーン協同組合 事務局をお預かりしております峯でございます。

日頃から組合員の皆様また町内会の方々には組合活動へのご理解・ご協力を賜りまことにありがとうございます。

さて今月は毎月恒例のお掃除のお知らせから。

次回清掃は **4月10日(火)** です。

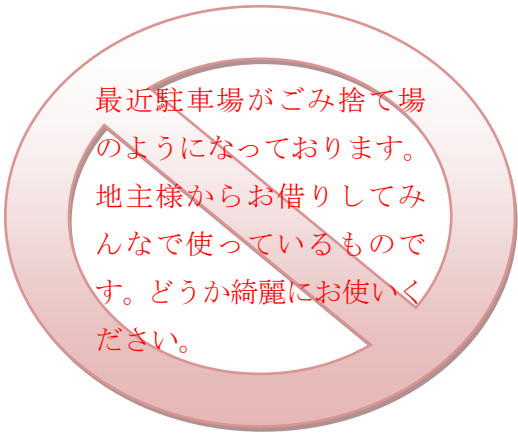
場所は第1駐車場を行います。朝9時に第1駐車場裏にお集まりください。

段々と参加者が多くなって来ております。本当に感謝です。まだ未参加の組合員さんも是非交流の場でもありますので参加を心よりお待ちしております。たくさんの人で掃除を行えばあっという間に終わります！

どうかご協力をお願いします。

続いて前回お知らせした「**Facebook**」についてです。現在事務局では、私、「峯仁思」の facebook (ちなみに【みねひとし】と読みます) と「新横浜テクノゾーン協同組合」の facebook ページの試験運用を行っております。そこに参加されている様々な方々のイベント企画のご苦労や組織運営ノウハウ等を学べたらと思い、全国の中小企業支援団体や青年会議所や商工会等の方々とは交流を始めております。実際本当に勉強になります。いつかこの知識を活かす機会を作らねばとも思っております。しかし事務局としてこれを企図した本来の目的は、当組合員の皆様、特に従業員の皆様方と繋がって参りたいというところにあります。単に挨拶一つでも良いのです。組合員各社から数名の方と不定期で構いませんのでコンタクトが取れる繋がりを持ち、普段は意見交換・お知らせの場として利用し、万が一の災害時等においては緊急連絡網としても活用できるようになればと考え、代表電話以外の連絡方法として事務局の BCP 活動の一環と位置付けております。

長期計画として焦らず進展させていきたいと思っておりますので是非ご理解いただき、各社従業員様にもお知らせいただければ幸いです。



最近駐車場がごみ捨て場
のようになっております。
地主様からお借りして
みんなで使っているもので
す。どうか綺麗にお使い
ください。

3月は当組合の決算月。

なかなか普段理事の方以外と
会える機会がありませんが、来期
には、各社役員・従業員の方々の
知己を少しずつ得て参りたいと思
います。

新米事務局長がごちなく運営し
ております新たな組合活動に、是非
組合員皆様の積極的なご支援をお
願い申し上げます。

事務局参加企画の報告

当組合が加入しております神奈川県中小企業団地組合連絡協議会による県外視察研修会に参加して参りました。今回お邪魔したのは埼玉県にあります「浦和工業団地協同組合」様。組合員である株式会社渡辺製作所様を見学させていただいた後、組合役員との意見交換を行いました。

この渡辺製作所様はモジュラージャックや通信用コネクターなどを製造・組立している会社で、さすがにご披露頂くだけあって整理整頓、いわゆる5Sが徹底しております。素晴らしいのは可能な限り自給体制を整えるという姿勢で、組立自動機や金型なども試行錯誤して社員が知恵を絞って開発



していっていることでした。渡辺社長曰く「わが社は物づくりというより人づくり」という基本姿勢を徹底することで培った風土のなか社員の自主性が育っていったそうです。ただしこの社員の積極的な姿勢を生む雰囲気を作り上げるのは並大抵の苦勞ではなかったようで、会社の姿勢を明文化し「社員パスポート」を作成し全員が携帯。環境や品質活動の記録や社員名簿などを共有し、休暇申請などもこのパスポートを使用して行っているそうです。そして「お金を払って育ててもらおう」という趣旨から就業時間内に勉強会や会議などを実施し、各種活動を班単位で盛り上げていくようにし、中間管理職は大手企業から引き抜いて、若手と経営陣との懸け橋となってもらい、育成の責任者として大手企業で培ったノウハウで指導を依頼し、若手には仕事に対する考え方の根本から変える努力をするよう指導していくことで今日の渡辺製作所があるとのことでした。



これはトップダウンにより会社の運営方針を徹底していった成功事例かと思いますが、会社と社員とできちんと約束しこれを守るという簡単そうで非常に難しいことが実ると素晴らしい会社となるのだということを学ばせて頂きました。

意見交換会では、神奈川各団地組合の紹介と埼玉県側の概要説明を受けたのち、団地協同組合としてどのような事業展開が可能かという話題やBCPの策定状況についてディスカッションいたしました。昨今のエネルギー問題から共同受電事業に対する関心が高く、BCP（事業継続計画）については組合レベルと企業レベルでの捉え方の相違が障壁であると感じました。



夕刻には埼玉県工業団地連合会の賀詞交歓会及び交流会に招待され、埼玉労働局安藤よし子局長の「最近の雇用情勢と課題」というテーマで、国・県・市町村が一体化した全国ネットワークを構築し財政責任と運営責任の一体化を図らねばならないという主旨の講演を拝聴。交流会では宴席に現在流行の「ウコン飲料」を準備し、これを飲んだのち、埼玉の地酒を盛り上げようと乾杯は地元のお酒で行うという埼玉スタイルで大いに交流させていただきました。さいたま親善大使のかわいらしい御嬢さん方の県庁担当者の監視のもとでの歓待もとても楽しいものでした。

次に神奈川県中小企業団体事務局長協会及び神奈川県中小企業団地連絡協議会の合同企画による「東日本大震災における海上自衛隊活動状況基調説明会」に参加いたしました報告をさせていただきます。

海上自衛隊横須賀基地に係留されている本説明会の会場となる護衛艦「ひゅうが」に乗艦し艦内見学の後、第1護衛艦隊群司令糟井海将補から活動状況についてお話がありました。

地震発生後、日本帝国海軍から通じて初めてと思われる「全可動艦艇出港」の命令が艦隊司令長官から発令。全部隊が救援態勢に入った。護衛隊群司令である糟井海将補も隷下ではない護衛艦に乗り組み現場へ急行し指揮を執られたそうです。米軍もトモダチ作戦発令前から豊富な物量を惜しげもなく提供してくれたそうです。

以下箇条書きで海将補の説明の一部を記します。

・「初動全力」全日本の海上自衛隊艦艇を投入し、指揮命令を明確にすることにより海からの救援に一丸であたれたことの意義は大きい。

・司令官が本来の指揮下でない艦艇からでも部隊の指揮統率をとれたことは日頃の訓練の賜物であり、また米軍との連携も訓練通り意思疎通が取れ共同で作戦が実施できた。

・指揮官としては、最初の命令を明確にしておけば、詳細は各現場指揮官が心得て実施されていくが、現場で解決できないトラブルがあった場合には適切な判断を必要があれば職務権限を越えてでも上に話を挙げて命令する必要があった。



例えば米軍提供品は一度空港で税関を通してからでないといけないなどという指示は災



害時まったく意味をなさないと判断し、上部機関と折衝し許可を得たこと。米軍は大量の品物の輸送能力にたけているが細かく配布するノウハウは自衛隊の方があったので役割分担を早期から決断していたなど実際に指揮を執った方だからこそ語れる内容に参加者一同惹きつけられるように聞き入っておりました。

また米軍ヘリパイロットからは、幾多の救援作業を経験しているが、ヘリの着陸を妨げず整然と物資搬入にまで積極的に参加し、しかも必要以上の

物資の受け取りを拒否し、他の避難所に持って行くよう懇願された事は初めての体験で、日本民族の素晴らしさに敬服したとのコメントがあったそうです。

自衛隊の存在に対するご意見は各人様々ではありますが、今回の災害救援に当たって各自衛隊の活動は誠にご苦勞であったと思います。いまだ行方不明者の捜索に尽力してくださっている自衛隊及び他にも従事している数多くの関係者・関係機関各位に感謝の意をささげたいと思います。

2. 駐車場委員会からのお便り

現在第1～5駐車場まで255台を管理しておりますが、年度末においてほぼ未収使用料が回収され、駐車場事業収入に関してほぼ正常化している旨の報告を事務局から受けておりますのでお知らせいたします。使用者の皆様には、月々お支払いの滞りの内容に今後お願い申し上げます。

尚、4月から第3～5駐車場に空きが発生する予定であります。現在満車状態でお断りした方もおりましたが4月からご利用いただけますので事務局までお申し込み下さい。

最後に、駐車場は共同の場です。吸い殻の後始末に困っております。どうか綺麗にご利用ください。

3. 総務委員会からのお便り

3月22日に事務局より2月の収支・活動報告を受け、特に問題はないものと判断しました。また現金有り高についても帳簿相当と判断いたしましたので併せてご報告申し上げます。

組合事務局では現在組合員各位に向けてのアンケートを準備中です。
 会社の現況やホームページ等での紹介文についてなど少々ボリュームのあるものになりそうですが、組合決算及び総会準備と並行してなるべく早期に配布する予定です。
 どうかアンケートが配布されましたらお忙しい中恐縮ですがご協力くださいますようお願い申し上げます。

事務局

峯